

令和 9 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・保健体育 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は 8 問 4 ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和9年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校 保健体育

1 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 次の文章の(ア)～(ウ)に当てはまる語句を記せ。

薬物乱用とは、違法な薬物を使用したり、(ア)を本来の目的から外れて使用したりすることをいう。薬物は脳に人工的な(イ)を与えるため、場合によっては、脳の働きが異常に興奮もしくは抑制され、(ウ)に至ることもある。薬物によってもたらされる感覚を一度でも体験してしまうと、再び、同じもしくは類似の薬物を使用するようになる。A 次第に同じ量の薬物では十分な効果が得られなくなり、使用量が増え、自分の意思でやめようと思ってもコントロールできなくなる(B 依存状態)。

(2) 下線部Aのことを何というか、漢字2字で記せ。

(3) 下線部Bには2つの状態があるとされているがそれぞれ何というか、記せ。

2 次の(1)～(5)の問いに答えよ。

(1) 器械運動において、学習指導要領に示されている運動種目を4つ記せ。

(2) 卓球において、台上で相手の下回転のボールに対して、下回転で返球する打法のことを何というか、記せ。

(3) ハンドボールにおいて、ボールを保持した状態で4歩以上動くとは何という反則になるか、記せ。

(4) サッカーにおいて、攻撃側の選手が相手陣地内で、ボールより前に位置し、かつ相手チームの最後から2人目の選手よりゴールラインに近い位置にいる状態で、味方からのパスやプレーに関与した場合に成立する反則を何というか、記せ。

(5) 水泳競技において、個人メドレーで泳ぐ種目を順番に記せ。

3 次の(1)，(2)の問いに答えよ。

- (1) バドミントンにおけるヘアピンショットは，どのような意図で用いるショットか，フライングの特徴を踏まえ，説明せよ。
- (2) 科目体育「G ダンス」入学年次の授業において，現代的なリズムのダンスを通して，生徒がどのような技能を身に付けることができるよう指導するか説明せよ。

4 次の文章は，高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 「第1部 第2章 第1節 2 教科の内容 (2) 標準単位数」の一部である。(①)～(③)は当てはまる数字を記せ。(④)～(⑥)は下のア～クからそれぞれ一つ選び，記号で記せ。なお，同じ番号には同じものが入る。

保健体育科に属する科目の標準単位数は，次のとおりである。

科目	標準単位数
体育	(①) ～ (②) 単位
保健	(③) 単位

「体育」及び「保健」は，(④)の生徒に履修させる科目であり，「体育」及び「保健」を(⑤)科目として履修させる単位数は，上記の標準単位を原則として下ってはならないものである。

< 中略 >

また，「体育」の標準単位数を引き続き(①)～(②)単位と幅をもって示したのは，各学校でそれぞれ適切な(⑥)を編成することができるように配慮したものである。

ア 希望
オ 一部

イ 全て
カ 選択履修

ウ 学級
キ 教育課程

エ 必履修
ク 理数系

- 5 次の文章は、高等学校学習指導要領「第2章 第6節 保健体育 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。下の（１），（２）の問いに答えよ。

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、A 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、B 体育や保健の見方・考え方を働かせながら、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、その合理的、計画的な解決のための活動の充実を図ること。また、運動の楽しさや喜びを深く味わったり、健康の大切さを実感したりすることができるよう留意すること。

- (1) 下線部 A について、体育の授業での主体的な学び、対話的な学び、深い学びの姿を、それぞれ記せ。
- (2) 下線部 B のうち体育の見方・考え方とはどのようなものか、記せ。

- 6 次の文章は、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校保健体育編）』（文部科学省国立教育政策研究所）「第1編 第1章 7 評価の方針等の生徒や保護者への共有について」である。下の（１），（２）の問いに答えよ。

学習評価の（ ① ）や信頼性を高めるとともに、生徒自身に学習の見通しをもたせるために、学習評価の方針を事前に生徒と共有する場面を必要に応じて設けることが求められており、生徒に評価の結果をフィードバックする際にも、どのような方針によって評価したのかを改めて生徒に共有することも重要である。

また、学習指導要領下での学習評価の在り方や基本方針等について、様々な機会を捉えて保護者と（ ② ）を図ることが非常に重要である。

- (1) ①，②に当てはまる語句を記せ。
- (2) 観点別評価の3観点を記せ。

- 7 次の文章は、高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編 「第 1 部 保健体育編 第 2 章 第 2 節 保健 3 内容」の一部である。下の (1) ～ (3) の問いに答えよ。

① 結婚生活と健康

結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることに理解できるようにする。また、(①) の意義や A 人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解できるようにする。また、結婚生活を健康に過ごすには、(②) の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの (③)、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療 (④) の活用が必要であることを理解できるようにする。

なお、妊娠のしやすさを含む男女それぞれの生殖に関わる機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。

⑦ 加齢と健康

中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、(⑤) の定期的な受診などの自己管理を行うこと、生きがいをもつこと、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、(⑥) における交流をもつことなどが関係することを理解できるようにする。また、高齢期には、加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には (⑦) があること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることについて理解できるようにする。

- (1) ①～⑦に当てはまる語句として最も適切なものを下のア～シからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

ア 社会環境	イ 影響	ウ 自他	エ ワークライフバランス
オ 家族計画	カ 個人差	キ 支援	ク 地域
ケ サービス	コ 心身	サ 健康診断	シ 情報提供

- (2) 下線部 A に関する事項を定めている法律は何か、記せ。
 (3) 下線部 A が認められる条件を 2 つ記せ。

- 8 次の (1) ～ (4) について、説明せよ。

- (1) ヘルスプロモーション
 (2) マタニティブルー
 (3) 社会的包摂 (ソーシャルインクルージョン)
 (4) マイクロプラスチック